



ドキュメンタリーは生きている ～エンドマークのその先に～

8月7日(土)13:30～16:30

せんだいメディアテーク7階スタジオシアター
参加費:無料/予約:必要/定員:30名

主催:みやぎシネマクラドル、せんだいメディアテーク
協力:i-くさのねプロジェクト 助成:一般財団法人地域創造

●第14回のテーマは…

ドキュメンタリーは現実の人間を取材対象にしているため、作品完成後もその人の人生は続いていきます。また製作者と被写体との関係もその時点で切れるわけではなく、交流を続ける中でお互いの人生に影響を与え合うこともあります。今回の映像サロンでは、多摩川河口の干潟で暮らすホームレスの老人を描いた『東京干潟』を例に、エンドマークの先に続く作り手と被写体との関係性について考えます。また本作の主人公の近況を綴った短編映像も併せて上映します。



●スケジュール

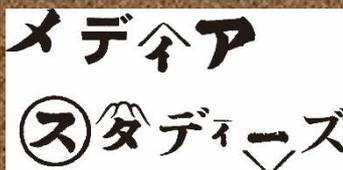
- 13:00～ 開場
 - 13:30～ 開会のあいさつ
 - 13:35～ 『東京干潟』上映とディスカッション
 - 16:25～ 閉会のあいさつ(16:30終了)
- ※ディスカッションの様子は後日希望者に限定公開

発表者:村上浩康(むらかみ・ひろやす)

映画監督。宮城県仙台市出身。2012年に『流ながれ』で文部科学大臣賞受賞。2019年に多摩川河口干潟を舞台にした連作『東京干潟』『蟹の惑星』でドキュメンタリー映画初の新藤兼人賞金賞受賞。その他、門真国際映画祭最優秀作品賞、文化庁優秀映画賞、座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル大賞など。



みやぎシネマクラドルは、宮城県仙台市を主な拠点に映像の作り手と市民が交流しながらネットワークを広めていくプロジェクトです。地元どんな作り手がいてどんな活動をしているのか興味はありませんか?お気軽にご参加ください。



■予約・お問い合わせ先
☎080-2773-0181(砂子)
✉m.cinamacradle@gmail.com
<http://www.smt.jp/projects/cradle/>



※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事前予約制とさせていただきます。ご参加のみなさまにはコロナ対策へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。